吉野川市学校給食センター

●徳島県吉野川市

贈呈理由　学校給食センターへの蓄熱システムの採用により、大幅な省エネを実現

吉野川市学校給食センター

徳島県北部のほぼ中央、吉野川の南岸に位置した吉野川市は、「安全・安心・楽しい学校給食」を実現するため、新しい学校給食センターの建設に取り組んできた。

1973年に建てられた給食センターは老朽化が進み、施設内は旧式システムの設備が目立つようになり、調理作業や衛生管理面が脆弱になっていた。また、学校給食衛生管理基準が時代とともに改訂されていたこともあり、給食施設の抜本的な改善が望まれていた。

オール電化で安全・安心の給食づくり

2012年4月に竣工した吉野川市学校給食センターは、県下最大規模の1日4,000食対応可能な調理施設で、建設にあたっては、給食の安全、衛生管理面はもとより作業効率、環境、運営コストなどの細部にまで配慮されている。空調、給湯、厨房すべての設備においてCO_2や水蒸気の排出を抑え、涼しく安心で環境にやさしいオール電化設備が導入された。

中でも燃焼をともなわない電化厨房は、調理室内の温度・湿度が一定に保たれやすく、細菌繁殖を防ぐドライシステムを導入している。さらに水や油で溶け出す物質を含まず、食材による着色汚れもない「PEN（ポリエチレンナフタレート）食器」を使用するなど、安全面も徹底している。

また、給食に使用する米は100%吉野川市産を使うなど、地産地消への取り組みも行っている。

地域の食育の拠点を目指す

給湯設備は、食器洗浄などに大量にお湯を使用することから省エネルギー性に優れた業務用エコキュートを導入、環境負荷の低減に大きく寄与している。さらに厨房では、夜間電力蓄熱式蒸気発生器を採用して、煮物や汁物、炒め物などの多様なメニューを迅速かつ経済的に調理を行い、省エネルギー・省コストの給食づくりを実現している。

このセンターは調理実習などが可能なレクチャーホールを併設している。児童・生徒を対象に、センター見学を交えた調理実習を行ったり、保護者などを対象とした勉強会・研修会が開催されている。

「地域に親しまれる食育の拠点施設」として、さらなる貢献が期待されている。

エコキュート

蓄熱式蒸気発生器

吉野川市学校給食センター

所在地：徳島県吉野川市川島町桑村字北須賀2827-74
建築設計：㈱大建設計
建築施工：西松建設㈱四国支店
蓄熱設備設計：㈱大建設計
蓄熱設備施工：㈱四電工
延床面積：2,423㎡
竣工年：2012年（新設）

●**蓄熱設備概要**
業務用エコキュート　33kW×3台〔前川製作所〕
貯湯槽：37.5㎥
蓄熱式蒸気発生器　27kW×4台〔IHI検査計測〕